

GREETING :挨拶

一年間のお礼と新年のご挨拶

いつもありがとうございます。2006年も、あと一週間となりました。

今年も、この紙面を借りて皆様にお礼を申し上げたいと思います。

今年も一年間、本当にありがとうございました！

先日、ある有名な経営者の講演会に行き、話を聞く機会がありました。

その方がおっしゃっていたことで、とても印象に残った言葉があります。

「人間が人間として生まれてきた目的は、人間として持つて生まれた美しい資質を高めることにある。」

とても心に響いた言葉でした。

「なぜ自分は生きているのか？」なかなか明確な答えは出せない問題ですが、

「自分の人間性を高めるため」 という答えならしきりくるなど思いました。

「なぜ働くか？」という問い合わせも同じだと思います。

人は欠点だらけの動物です。何歳になっても欠点の全くない人間にはなれないと思います。しかし、日々生活する中で、壁にぶつかり、悩み、それに向き合ふことで少しずつ人間性を高めていくことができます。

仕事をすると、より壁にぶつかる機会も増えますし、悩みも増えます。

その分、働くということは自分の人間性を高めるために、大きな役割を果たす気がします。だから子育てに頑張っている主婦の方々を含めて、働くことは大切だし、実際に多くの人が働きながら生活を送っているのでしょう。

そう考えると、悩んだ時、仕事で何かを決断しなければならない時などに、

「自分の人間性が高まる選択をすればいいのだとシンプルに

考ることができます。

人生、いろんなことが起こります。いいこと、悪いこと、楽しいこと、つらいこと。

どんなこともすべて自分の人間性を高めるのに必要なことなのではないでしょうか？

人間関係で悩んだり、大きな病気と闘うことになったり、

すべては「なぜ生きるのか？」という問いの答えを探すために必要なことである気がします。他人の痛みがわかったり、あるいは人の優しさに触れ感謝の気持ちを持てるようになったりと、結果的にはつらい経験ほど後でいい経験になるのだと思います。だから嫌なことから逃げていたら、いつまでも人間性は高まらない。仕事をする中で、**自分の人間性が高まらない選択ばかりをしていたら、いつまでも成長がない。**

地位や名前やお金も大切ですが、それ以上に人間性が高まり、魅力的な人間になることが幸せにつながる気がします。

私自身、日々反省です。お客様と接する中で、自分の取った態度に猛反省する毎日です。しかし、仕事を通じて人間性を高めるチャンスがある幸せに感謝して、少しでも自分の人間性を高められるよう今後も仕事に取り組んでいこうと思います。

今から10年前、私はまだ学生でした。その時には、「なぜ自分は生きているのか？」

なんて考えたこともありませんでした。そんなのんきだった私も社会人になり、

少しずつですが成長できました。しかし、まだまだです。10年後に、もっともっと

高い次元で反省できる自分を目指したいと思います。理想と現実のギャップは

大きいですが、徐々にでも**理想に近づいていくれるよう日々精進します。**

もうすぐ2007年。新しい年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように！

誰よりも早い新年のご挨拶です。

2007年も、宜しくお願ひ致します。

感謝!!

FAVORITE :お気に入り

今回は、私のおすすめの本「Good Luck」を紹介させていただきます。



10年前の私です



先日、新幹線の中から
私が撮影した富士山です。

幸運を手にする7日間の物語

「運も実力のうち」なんてよく言われますが、皆さんは「運」について一度でも考えたことがありますか？

今回紹介する「Good Luck」の著者は、「運」と「幸運」は違うと言っています。

「運」は、ただ巡ってくるもの。すぐに離れていってしまう。

「幸運」は、自分の手で作り出すもの。永遠に尽きることはない。

この本には、二つの違いが**おとぎ話風**にとてもわかりやすく書かれています。

幸運が訪れないのには、訪れないだけの理由がある。しかし、自ら下ごしらえをすれば幸運は必ず自分の手でつかむことができる。

1時間程度で読めてしまう本ですので、私自身何度も読み返していますし、今まで多くの方にお薦めしたり、プレゼントとして贈ってきた本です。

もう読まれた方もたくさんいらっしゃるかもしれません、まだの方には是非お薦めしたい一冊ですし、経営者の方には社員の皆様に、

お父さん・お母さん方にはお子様に是非お薦めいただければと思います。

皆様にGood Luck！



『Good Luck』

著者

アレックス・ロビラ
フェルナンド・トリアス・デ・ベス

定価

1,000円（税込）